進路指導の実態レポート6

大阪市立 咲くやこの花高校

高校の特色である多様な学びの中で将来の「考え方の軸」を作る指導を実践

大阪市立咲くやこの花高校▲大阪府大阪市▲2008年に開校▲全日制・男女共学、併設型公立中高一貫教育校、生徒数約680名▲大学合格実績：国公立／35名　私立／近畿、龍谷、京都産業、大阪樟蔭女子、関西、立命館、関西学院、京都造形芸術、関西外語、大阪芸術、早稲田、上智、武蔵野美術、多摩美術　他

国立大進学から就職まで多様な進路に対応

本校は大阪で唯一の中高一貫校として2008年4月に開校し、今年で創立9年目を迎えます。高校には、理数、ロボット工学、スポーツ、言語文化、造形芸術、映像表現という専門性の高い6つの系列を有する「総合学科」、公立高校では全国で2番目の設置となる「演劇科」、府内で唯一の高校卒業時に調理師免許が取得できる「食物文化科」の3学科を設置しています。生徒の学習分野や興味・関心はきわめて多様で、卒業生の進路も東大・京大といった難関国公立大学から就職まで多岐にわたるため、進路指導では試行錯誤を重ねてきました。

前身である2つの市立高校は大学進学率が高くなかったこともあり、設立時の教員の受験指導に関する経験値はあまり高くありませんでした。このため、進学指導に実績のある先進校の視察や、各種の進学指導研究会への参加などを通し、教員のスキルアップを図りつつ、校内の進路指導体制を整備することが急務の課題でした。

独自マニュアルを作成し教員の指導目線を統一

当時から重視していたのが、進路指導における「教員の目線合わせ」です。どの時期に何に重点を置いて指導すべきなのか、教員が認識を共有し、一貫した指導を行うために、独自の「進路指導マニュアル」の作成に取り組みました。

進路指導で肝となるのは、担任の面談です。そこで、担任が進路指導全体のストーリーを把握しやすいよう、指導の流れをチャートにして、指導や模試活用の時期に応じた意義、それぞれの指導との関係性を具体的に示しました。模試の結果は、生徒が学力・学習を振り返るための素材になります。

面談では必ず「大学に入って何をしたい？」と聞いています。志望校選びの基礎資料は大学案内ですが、これだけでは大学の教育内容の実状がわかりにくいことがあります。生徒が迷ったときはまず、「ホームページを見なさい」と言っています。というのも学術研究や卒論のテーマなどから、実際に学べる内容を推し量れるからです。

次に、「現場に行きなさい」とアドバイスします。自分に合う大学かどうか、雰囲気を肌で感じるべきだからです。そのうえで、必ず数校比較させてから「最後は自分で決めなさい」と伝え、最終判断をするのは生徒自身であることを意識づけています。

1年生の段階から将来を見据えた「考え方の軸」を育成

生徒に主体的に進路を考えさせるため、総合学科1年生が履修する「産業社会と人間」という授業を有効活用しています。この授業は総合学科の特色である2年生からの科目選択に関わる内容だけでなく、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要な基礎的能力や態度を育てることなどを目標にしています。そのため、自己分析、他者への理解からスタートし、段階的に大学の学びについて探究を行いながら、職業理解、将来設計などのプログラムやワークショップを企画・立案しています。

低学年のうちから様々な観点からキャリアについて考えることで、目標設定の必要性を理解し、進路実現に向けて「今、何をすべきか」を常に考えて行動できると考えています。また3年生で進路を具体的に決定する時期には、けっして安易な選択をせず、覚悟を持って進路目標に向けて勉強に励むことができる。このように将来を見据えた自分の「考え方の軸」を持つことは、大学選びだけではなく今後の生き方にも役立つことと信じています。

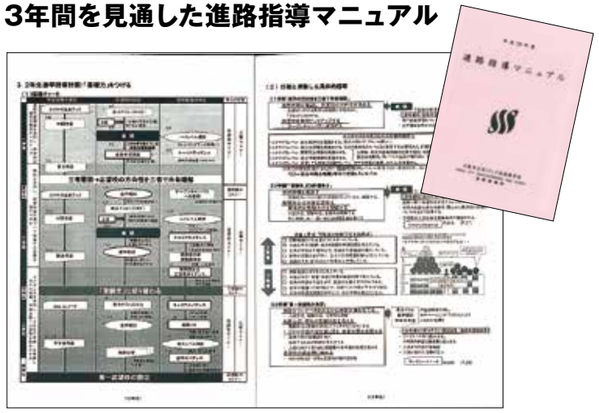
生徒の多様性を生かし見守る進路指導をめざす

課題があることも確かです。生徒たちの学力レベルには、かなりの幅があり、きめ細やかな「セミナー」補習や個別指導を欠かせない状況は、学力がある程度均質である学校とはまるで違います。

その一方で本校の強みは、生徒たちの得意分野の多様性です。それぞれの分野で頂点をめざす仲間がそばにいるからこそ、刺激があり、自分の土俵で冷静に戦えるのです。分野は異なっても、彼らの仲間意識が高いことが力の源でしょう。そして、教員のマンパワーも強みです。担任だけではなく、進路・教科担当者も、各生徒の課題を共有し、よりそって指導します。最後の1名の行き先が決まるまで、生徒も教員も皆で力をあわせ、「チーム咲くや」の団体戦で進路実現をめざしています。

刺激を受ける仲間がいてそれを誇りに思い、自己を高める。生徒たちのめざす先がさまざまであるという多様性を、これからも進路指導に生かしたいと思います。

教員の目線を合わせるため 3年間を見通した進路指導マニュアル



3年間の進路指導の流れ

＊高校提供の資料を基に作成

1年

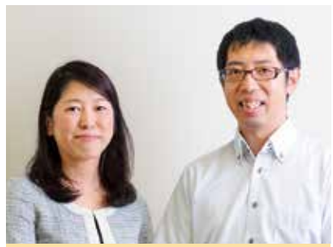
- 4月 実力テスト（スタディーサポート、以下スタサポ＊1）／スタサポ分析会
- 5月 キャリアガイダンス（産社＊1）
- 6月 キャリアガイダンス（産社）／進路希望調査／面談／保護者対象進路講演会
- 7月 進研模試／懇談／夏期集中セミナー
- 8月 オープンキャンパス参加
- 9月 実力テスト（スタサポ）／キャリアガイダンス（学部・学科の理解）／スタサポ分析会
- 10月 進研模試／面談
- 11月 実力テスト（GTEC）
- 1月 キャリアガイダンス（学習習慣を振り返る）／進路希望調査／進路アンケート／進学ガイダンス／記述模試
- 2月 春期集中セミナー／GTEC分析会
- 3月 スタサポ分析会
- 4月 実力テスト（スタサポ）
- 5月 スタサポ分析会
- 6月 キャリアガイダンス（進路目標の再設定）／進路希望調査／ハイレベル模試／面談
- 7月 進研模試／懇談／夏期集中セミナー
- 8月 オープンキャンパス参加
- 9月 実力テスト（スタサポ）

2年

- 10月 キャリアガイダンス（学習習慣をリセットする）／ハイレベル模試／スタサポ分析会
- 11月 キャリアガイダンス（系統別進路説明会）／進研模試／面談
- 12月 難関大志願者ガイダンス／保護者対象進路講演会
- 1月 キャリアガイダンス（3年生0学期スタート宣言）／実力テスト（GTEC）／マーク模試／難関国公立大志望者ガイダンス
- 2月 キャリアガイダンス（進学マネープラン）（進路決定に向けて）／進路希望調査／進路アンケート／記述模試／東大レベル模試／GTEC分析会
- 3月 進学ガイダンス（3年生による合格体験談）／春期集中セミナー
- 4月 進路希望調査／実力テスト（スタサポ）／保護者対象進路講演会
- 5月 マーク模試／記述模試／看護医療系模試／スタサポ分析会
- 6月 進学ガイダンス（受験に向けて）／看護系ガイダンス／志望理由書書き方セミナー／GTEC別進学ガイダンス／面談
- 7月 志望校検討会議（准鷹）／指定校推薦説明会1／面接指導開始／記述模試／大学実戦模試／懇談／夏期集中セミナー
- 8月 AO入試開始／マーク模試／大学実戦模試
- 9月 センター試験説明会1／指定校推薦説明会2／記述模試／マーク模試／看護医療模試／大学実戦模試
- 10月 指定校推薦入試開始／公募制特別推薦入試開始／センター試験説明会2／記述模試／マーク模試／記述模試／大学実戦模試
- 11月 公募制一般推薦入試開始／マーク模試／大学実戦模試／センター試験プレテスト／面談
- 12月 志望校検討会議（国公立一般私大）／センター試験説明会3／センター試験プレテスト
- 1月 センター試験／国公立大出願指導／検討会議／センター試験後指導開始／国公立大出願懇談
- 2月 進路アンケート／国公立大前期入試～発表／大学別直前プレテスト
- 3月 国公立大中期入試～発表／国公立大後期入試～発表

＊1:産業社会と人間

■教員の行事　■保護者向け行事



進路指導主事
田中愛子（左）
たなかあいこ●教職歴19年。同校赴任歴9年目。進路指導主事3年目。「進路指導マニュアル」を作成。生徒一人ひとりの進路を把握し、主に3年生の進学から就職指導にあたる。

総合学科長 首席
栗本要人（右）
くりもとかなと●教職歴21年。同校赴任歴9年目。総合学科長3年目。同校の進路指導を整備し、現在は主に低学年の指導にあたる。

取材・文／友田千恵　撮影／山北茜（スタジオ エレニッシュ）